



白鷹町子育て支援センター

ファミリー・サポート・センターだよ!

発行 平成 26 年 12 月 24 日

すっかり真冬の景色になり、寒い日が続いております。

ファミリー・サポートの事業につきましては、ご協力頂き本当にありがとうございます。子育て支援センター「にこぽーと」に場所を移してから、利用する方や利用会員の登録が増え、以前にもまして利用しやすくなったようです。しかし、利用者が増える一方で協力会員の方の人数がまだまだ少ない状況ですので、皆さんのお知り合いで興味をお持ちの方がおられましたら、ぜひお声を掛けて頂きたいと思っております。よろしくお願いします。

今回は、現在のファミリー・サポート・センターの状況や研修会の報告をしたいと思っております。



ファミリー・サポート・センター登録人数

- ❖ 利用会員（自分の子どもを預ける方）92 人
- ❖ 協力会員（子どもを預かってくれる方）24 人
- ❖ 両方会員（自分の子どもを預かってもらったり、他の子どもを預かったりする方）6 人

☆利用状況 12月24日現在

利用件数 79 件 託児件数 12 件

協力会員・利用会員宅での預かり…60 件

「にこぽーと」での預かり…22 件

健康福祉センターでの託児…8 件

その他（イベント等） 1 件

協力会員・両方会員研修会(H26.9.22)～抜粋～

「子どもへの関わりと心の発達」～いろいろな子どもの預かりに対応するために～

講師 まごころサービス長井理事長・保健師 平吹 京子氏

○ファミリー・サポート・センターの任務とは？

- ・預かった状態で返すことが一番大切。
- ・笑顔を忘れないこと。

・感情移入はしない。

○子どもの年齢から、発育・発達等を想定する、できることが必須。

- ・発育、発達等は、事前の打ち合わせで把握しておくようにする。
- ・預かるうえで年齢の発達段階を的確に想定していることが大切。
- ・今やれることを精一杯させてあげる。ハイハイの時期であれば、スペースを広く取り十分なスペースで遊ばせてあげる。

○事前打ち合わせで聞くことは？

- ・食事、排せつ、睡眠など一つ一つ細かく家庭でのやり方を聞く。それぞれの家庭でお母さんのやり方、パターンがあるのでどんなふうに行っているのかを順序良く聞くようにする。
- ・食べ物については、食べさせていけないものを聞いておく。食べさせ方、家での状況、アレルギーがあるかないか、自分で食べられるか、食べさせてあげるのかも聞いておく。



皆様にとって、2015 年も喜びの多い幸せな 1 年になりますように…。よい年をお迎え下さい。

白鷹町ファミリー・サポート・センター 担当 大木 里佳